

中央百寿大学における講義

於 東町小学校
2010年11月4日
日本銀行旭川事務所
荒木 光二郎

本日の話題

はじめに 日本銀行は何のためにある？

第1章 旭川の印象

第2章 日本と道北の景気動向

第3章 日本と道北経済の課題

はじめに 日本銀行は何のためにある？

- ①日本銀行券の発行
- ②金融政策
- ③金融システムの安定

「中央銀行ナル者ハ一國金融ノ心臓ナリ」(松方正義)

日銀法から見た役割

日本銀行法

第1条 日本銀行は、我が国の中央銀行として、銀行券を発行するとともに、通貨及び金融の調節を行うことを目的とする。

→ **発券銀行、金融政策**

第2条 日本銀行は、前項に規定するもののほか、銀行その他の金融機関の間で行われる資金決済の円滑の確保を図り、もって信用秩序の維持に資することを目的とする。

→ **決済システムの安定、最後の貸し手**

①日本銀行券の発行 そもそもお金は何のためにある？

「お金」は何のためにあるの？

「お金」がもっている機能

- モノを交換する（＝価値交換機能）
- モノの価値を測る（＝価値尺度機能）
- モノの価値を貯めておく（＝価値保存機能）

日本銀行券

単なる紙きれに過ぎないが・・・

「お金」を信じる？信じない？

単なる紙切れであるお札がお金として通用するためには、
みんなが価値があると信じてくれなければなりません

日本銀行の仕事は「お金」をみんなに
安心して使ってもらえるようにすること



6



銀行券の受払高(日銀旭川事務所管内)

- 単位 億円

	受入	払出	合計
21年 10月	78	99	177
11月	93	92	185
12月	73	259	332
22年 1月	185	57	242
2月	99	105	204
3月	126	109	235
4月	83	167	250
5月	156	88	244
6月	96	126	222
7月	103	88	191
8月	112	106	218
9月	92	97	189
21 年 中	1,377	1,286	<u>2,663</u>

1スキッド=40億円



お金を安心して使ってもらうために

- 日本銀行だけがお札を発行できる
- 日本銀行が発行するお札は無制限に通用すると法律で決められている（強制通用力）
- 日本銀行はモノの値段 - お金の価値 - が安定するよう金融政策を行っている

お札の一生

「お札」は国立印刷局で印刷され、日本銀行に運び込まれる

日本銀行の窓口から金融機関を通じて世の中に出て行く → 発行

日本銀行から出て行った「お札」は、
あちこちで使われたあと、日本銀行に戻ってくる

日本銀行に戻ってきた「お札」は「にせ札」がないかチェックされ、
傷んで使えない「お札」と使える「お札」に分けられる



使える「お札」は再び世の中へ
使えない「お札」は建材などへリサイクル

銀行券の鑑査



日銀と北海道との出会い

日本銀行最初の営業所(開拓使あと)

(1882年<明治15年>)



最初の日本銀行券



大黒札（旧一円券）

日銀の旭川最初の拠点

北海道支店(現函館支店)管下に旭川派出所設置

— 1897年<明治30年>現3条通12丁目)。

・ 時代背景

— 旭川開村(明治23年)の7年後。

— 1年後(明治31年)に国鉄旭川駅開業。

— 2年後(明治32年)に旧陸軍第7師団旭川移転が決定(各隊は明治33年、司令部は明治34年に移駐)。

⇒ 第7師団旭川移転に伴い派出所拡張・金庫新築(次ページ)

・ 業務

— 支庁金庫事務、第七師団国庫金関係事務、為替業務などをつかさどる。

— 明治39年に北海道銀行(昭和9年旧拓銀に合併)にその機能を委譲し、一旦撤退。

日銀の旭川最初の拠点(2)

一 影響大きい第7師団

- 第7師団ノ全部上川へ移転(札幌→旭川)ノ後ハ、旭川派出所ノ取扱事務自然増加スヘキヲ以て明治34年9月同派出所ノ事務室ヲ拡張シ、行舎新築ノ議ヲ決シ、爾来工事ニ着手シ11月ニ至リ悉皆落成セリ。
- 第7師団ノ完成諸官街ノ増設等ニ伴ヒ旭川派出所ノ出納ハ漸次頻繁ニ赴キ、且常時多額ノ支払基金ヲ保管セサルヲ得サルヲ以テ明治35年3月同派出所構内へ金庫一棟新築ノ議ヲ決シ、同年11月ニ至リ悉皆落成セリ。

【日本銀行沿革史より】

戦後に旭川事務所設立

旭川事務所設立(1946年<昭和21年>)

- 当初、2条通8丁目。1965年(昭和40年)、4条通9丁目(現在地)に移転。

(主な業務)

- 道北地域における日銀券の円滑な流通
- 道北地域における金融経済情勢の調査
- 道北地域における広報活動、情報発信

第1章 旭川の印象

➤ 都市機能が整備されていて、大自然が身近。大小の美しい公園と川の景観が見事。一方で、東京やその他大都市で失われた明治や大正、昭和が残っている。魚、野菜、ラーメン等食がうまい一方、三浦綾子、井上靖ゆかりの地で文化的レベルも高い。

- 旭川空港に着陸前の光景(雄大で美しい自然環境<大雪山系、畑、川>と石狩川、スタルヒン球場、旭川の街)の素晴らしさは、屈指。
- 水・空気がおいしく、大小の公園、大雪山、川、橋等の景観が美しい。
- 豊かな食材(米、野菜、海の幸・山の幸、スイーツ)。ラーメン。蕎麦。
- 高度な医療サービスの集積。
- 素朴で温かい人柄。よそ者にも親切(道を聞くと丁寧に教えてくれる)。
- アクセクしていない、ガツガツしていない。謙虚。堅実。勉強熱心。
- 交通ストレスの少ない社会(通勤・通学ラッシュなし、交通渋滞なし)。
- 都市機能も充実。大きすぎず、小さすぎない。
- 北海道の中心、堂々とした地方中核都市。

課題

- 実力比知名度は高くない
 - 北海道第二の都市。東北以北で第三の都市。県庁所在地にも匹敵する都市。
 - だが、旭川に来る前は、旭山動物園、ラーメンぐらいしか思い浮かばない。
 - 観光ガイドブック(JTB、昭文社等)でも、旭川単独のものは少ない。

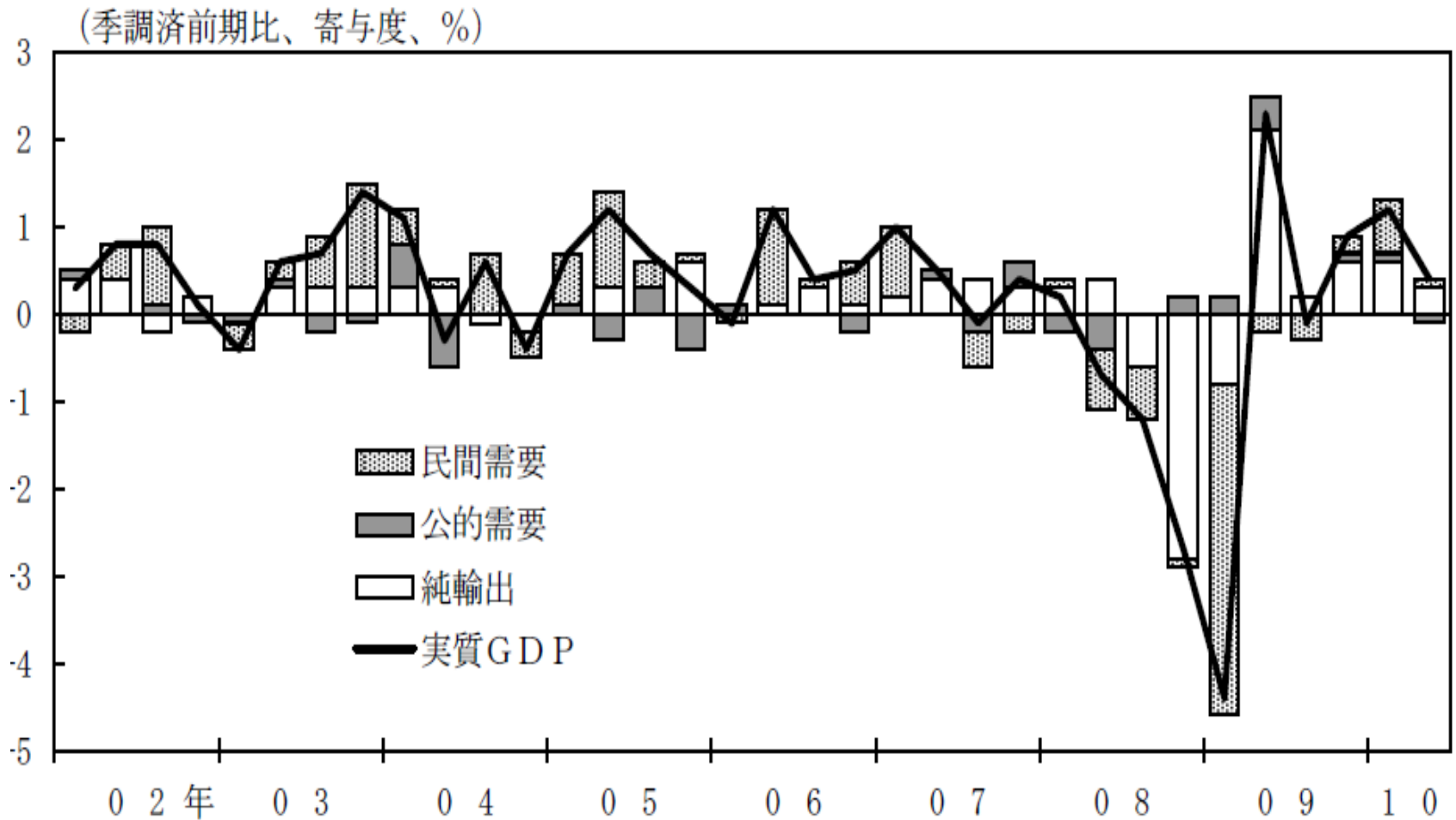
- ホスピタリティ溢れる街作り、アジア・ロシアとの接点
 - 拡大する新興国需要の取り込み
 - 観光振興、移住
 - 住む人・来る人が楽しくなる魅力ある街作り。
 - … 小布施の取組み、餃子による町興し。
 - 旭川大雪観光文化検定導入は良い取組み。
 - 全国各地が観光振興に注力。素材は当地が圧倒的に優るが、どう差別化する？
 - 動物園の集客力活用。
 - インバウンド観光への対応は？
 - … 白馬、ニセコにおける口コミの重要性

第2章 日本と道北の景気の現状

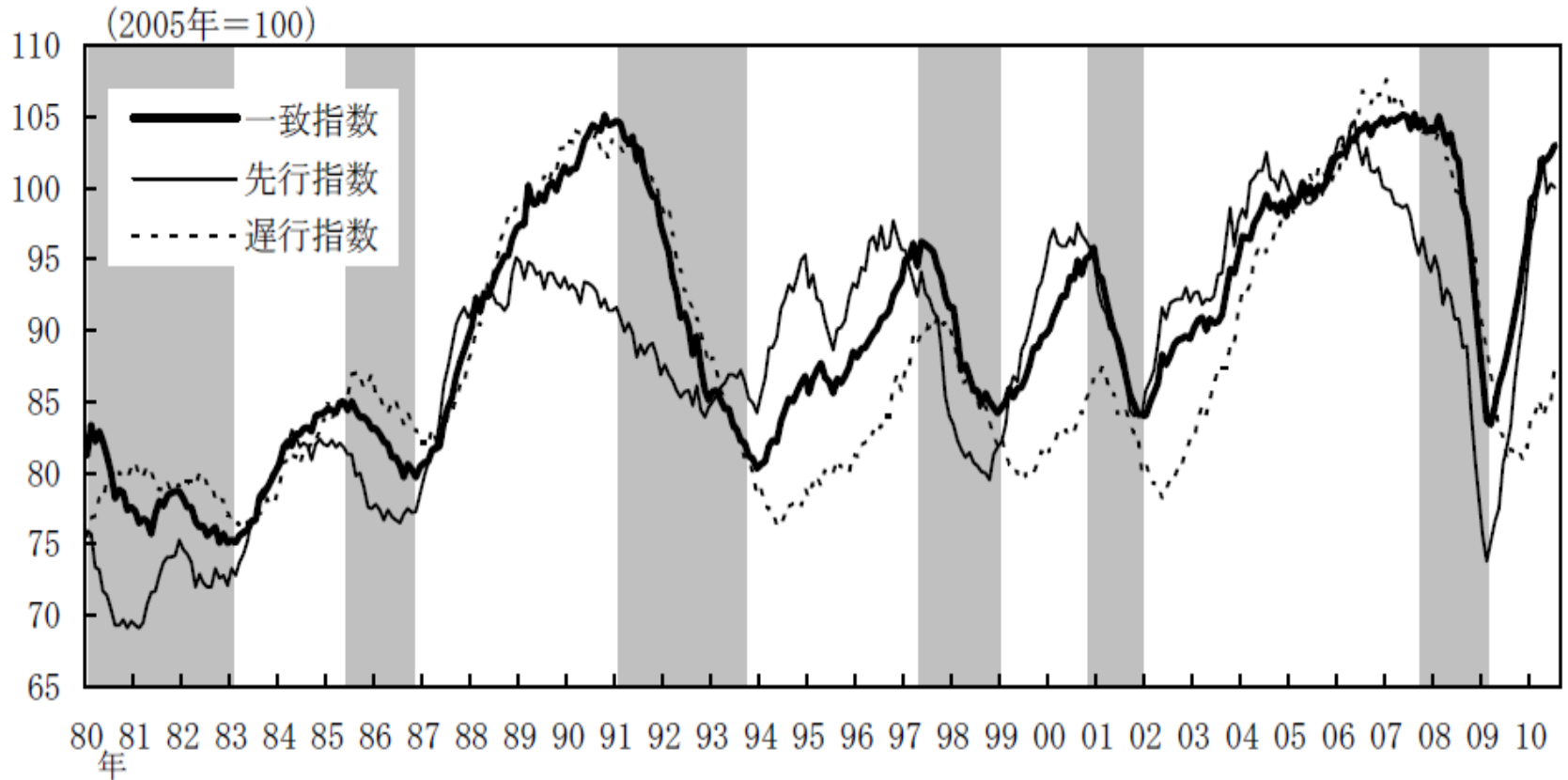
はじめに 景気動向をどのように捉えるか

- 実質GDP(個人消費、設備投資、住宅投資、政府支出、純輸出<輸出-輸入>)
- 生産
- 雇用
- 物価
- 株価
- 各種アンケート調査(日銀短観ほか)

実質GDPの推移



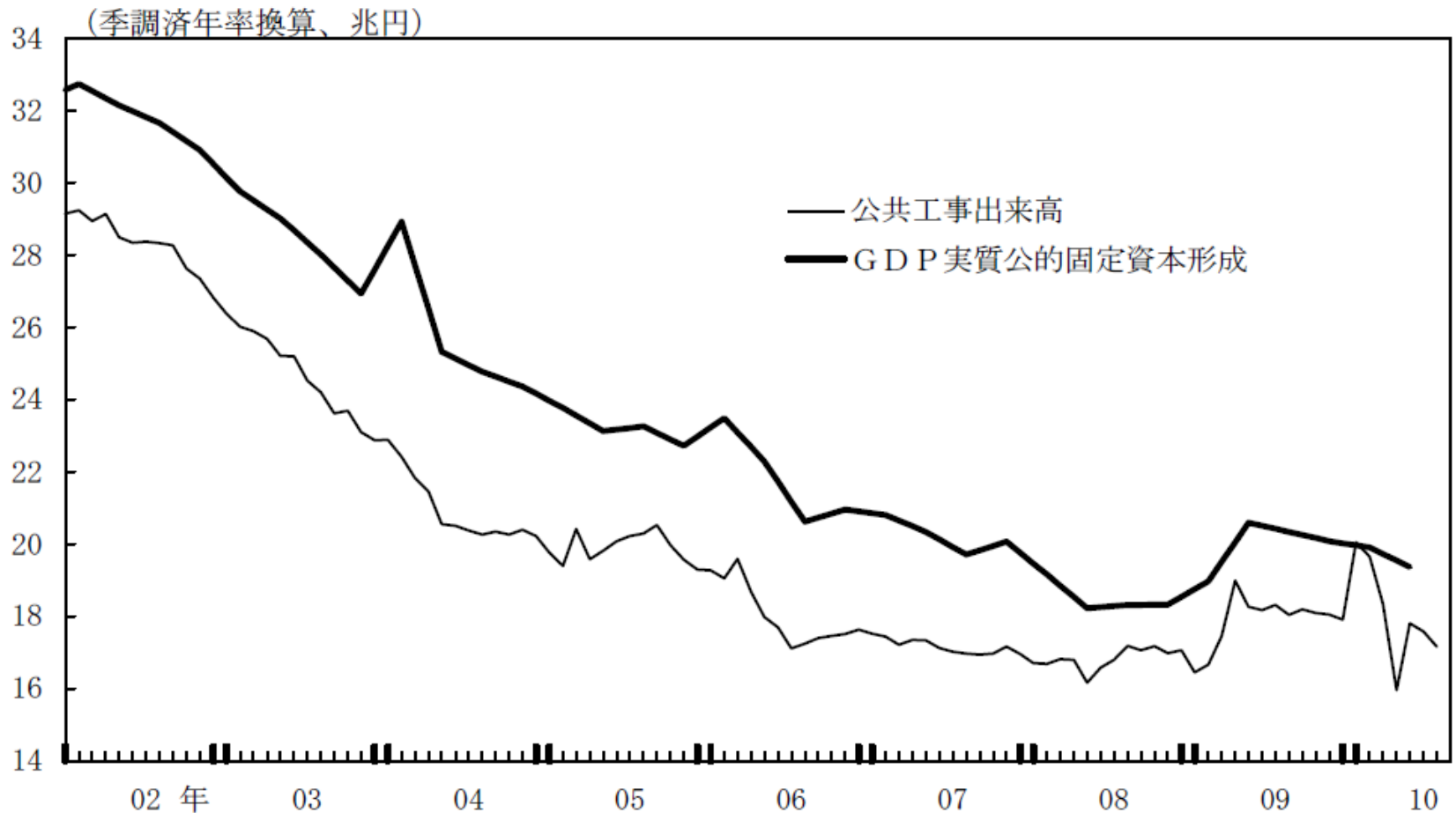
景気動向指数



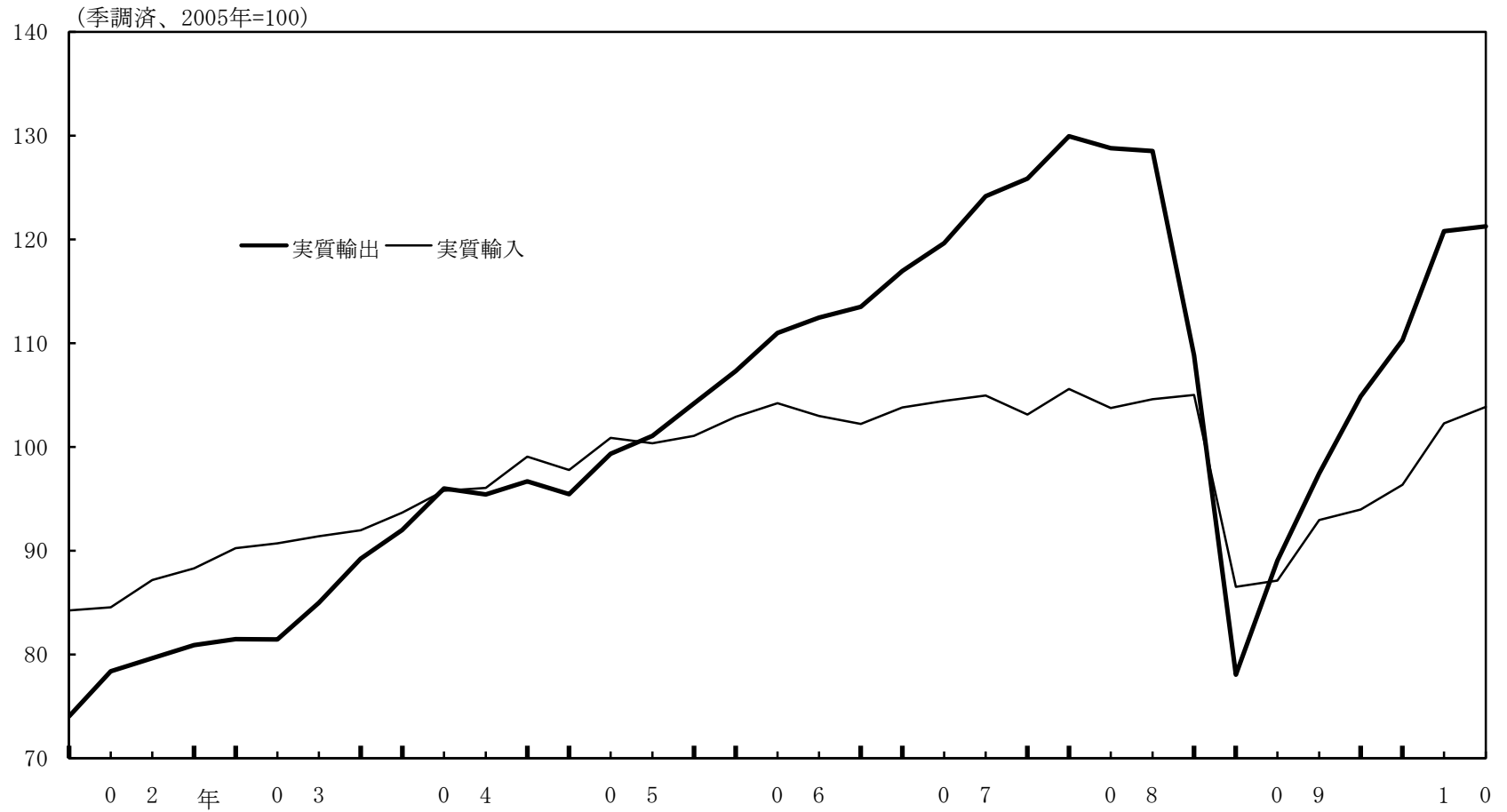
(注) シャド一部分は景気後退局面。

(資料) 内閣府「国民経済計算」 「景気動向指数」

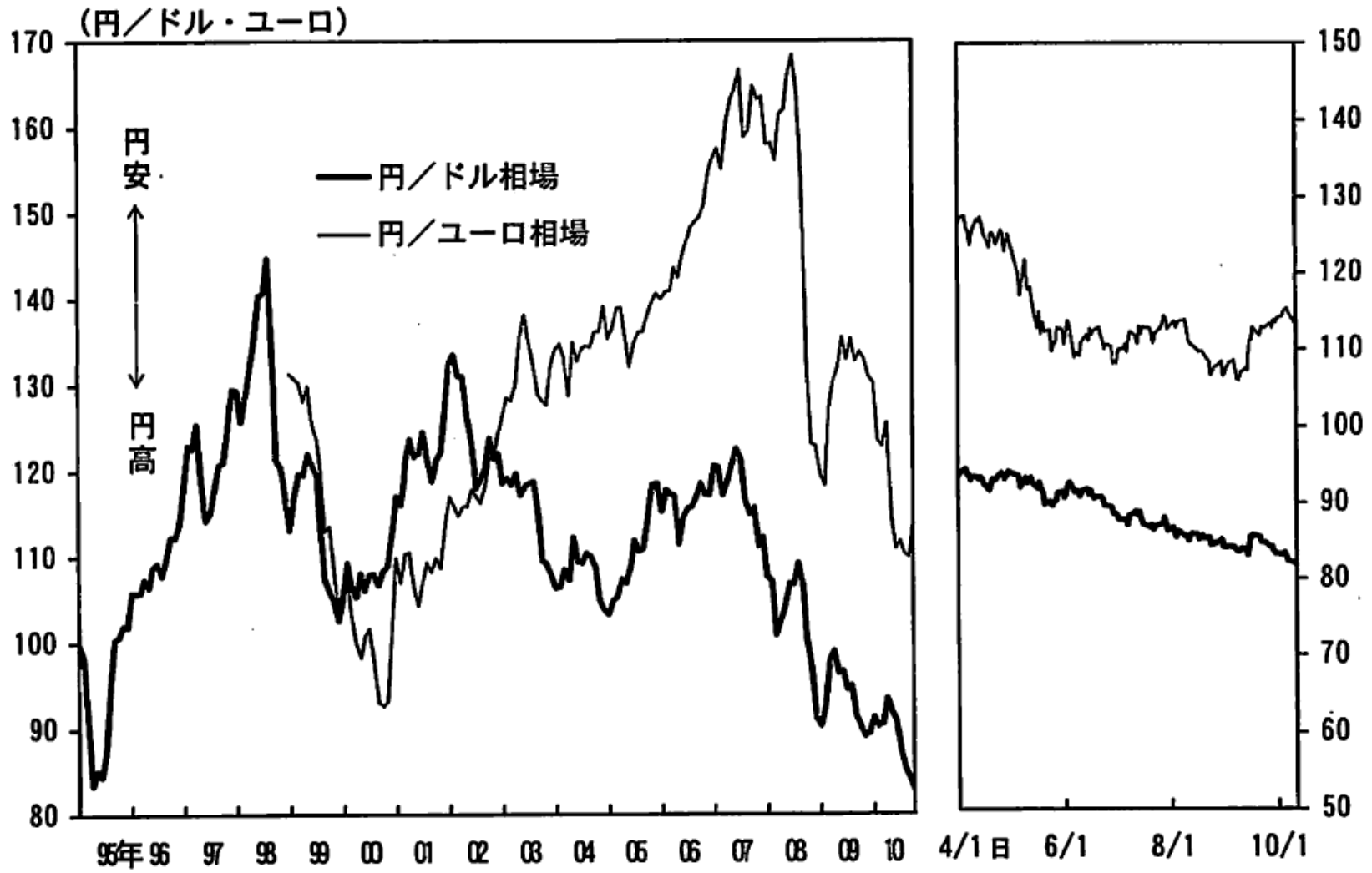
公共投資の動向



輸出の動向



為替レート(ドル・円、名目)



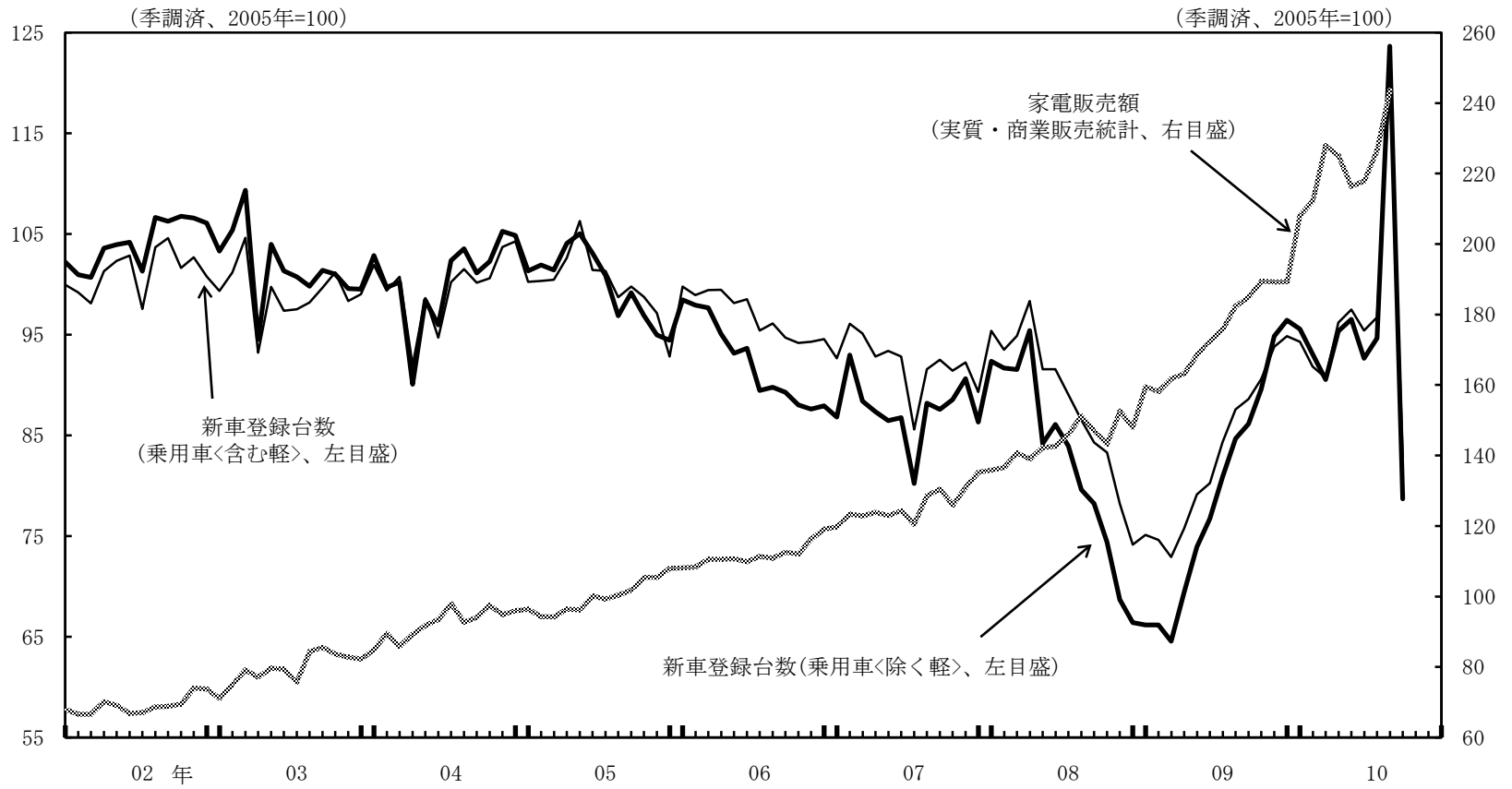
海外経済の動向

(欧米は前期比
年率、東アジア
は前年比、%)

		2007年	2008年	2009年	2009年 3Q	4Q	2010年 1Q	2Q
米 国		1.9	0.0	-2.6	1.6	5.0	3.7	1.7
欧 州	E U	3.0	0.5	-4.2	1.3	0.9	1.4	4.0
	ド イ ツ	2.7	1.0	-4.7	3.0	1.2	1.9	9.0
	フ ラ ン ス	2.3	0.1	-2.5	1.1	2.4	0.7	2.8
	英 国	2.7	-0.1	-5.0	-1.2	1.4	1.8	4.7
東 ア ジ ア	中 国	14.2	9.6	9.1	9.6	11.3	11.9	10.3
	N 韓 国	5.1	2.3	0.2	1.0	6.0	8.1	7.2
	I 台 湾	6.0	0.7	-1.9	-1.0	9.1	13.7	12.5
	E 香 港	6.4	2.2	-2.8	-2.4	2.5	8.0	6.5
	s シンガポール	8.5	1.8	-1.3	1.8	3.8	16.9	18.8
	A タイ	4.9	2.5	-2.2	-2.7	5.9	12.0	9.1
	S インドネシア	6.3	6.0	4.5	4.2	5.4	5.7	6.2
E マレーシア	6.5	4.7	-1.7	-1.2	4.4	10.1	8.9	
A フィリピン	7.1	3.7	1.1	0.2	2.1	7.8	7.9	
N 4								

(注) 計数は、各国政府または中央銀行、欧州委員会による。

個人消費



日銀短観とは

- 正式には、企業短期経済観測調査。
- 日銀が、企業(全国約1万社)に対して行うアンケート調査。
- 調査項目
 - ① 自社の業況や、経済環境の現状・先行きに関する判断
 - ② 売上高や収益、設備投資など事業計画に関する実績と予測

業況判断D. I. とは

- 自社の収益を中心とした全般的な業況が、
 - ① 良い
 - ② さほど良くない
 - ③ 悪いのいずれかを選択。
- ①と回答した企業の構成比(%)－③と回答した企業の構成比(%)、単位:%ポイント

【具体例】回答社数10社、
「①良い」2社、「②さほど良くない」4社、「③悪い」4社 と回答。
D.I. = 20%－40%
= ▲20%ポイント

(注) D.I. = Diffusion Index(拡散指数)の略。

道北地域(53社)の短観結果 業況判断D.I.

＜上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内＞

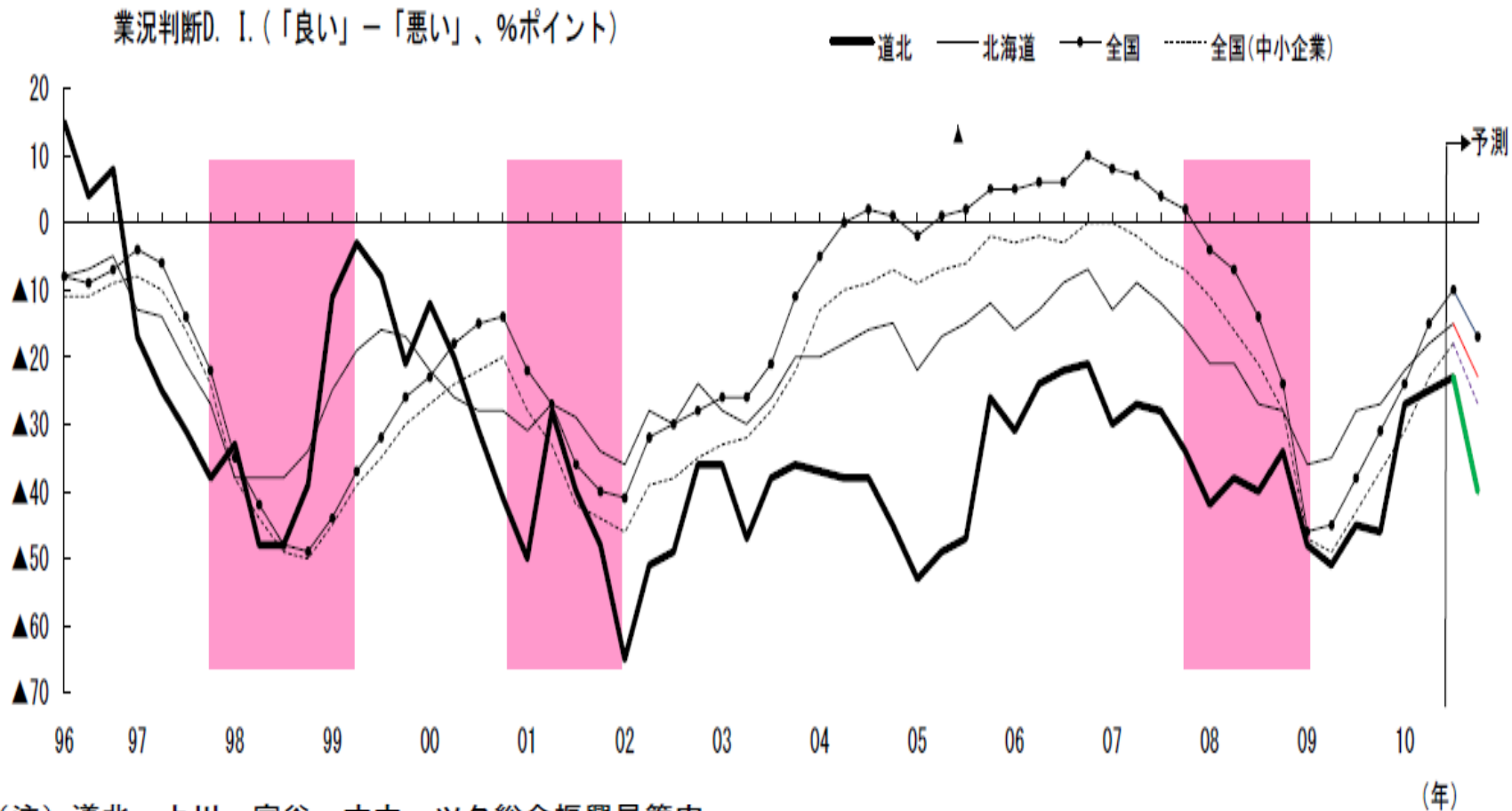
〔 回答社数構成比%ポイント
() 内は前回調査時予測 〕

(判断D. I.)

	2009/6月	9月	12月	2010/3月	6月	9月	12月までの予測
業況判断						(▲33)	
＜ 良 い - 悪 い ＞	▲51	▲45	▲46	▲27	▲25	▲23	▲40
うち製造業	▲54	▲58	▲36	▲9	0	9 (▲18)	▲27
非製造業	▲50	▲41	▲47	▲32	▲30	▲32 (▲35)	▲44

(注)2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。

業況判断D.I.(全産業)

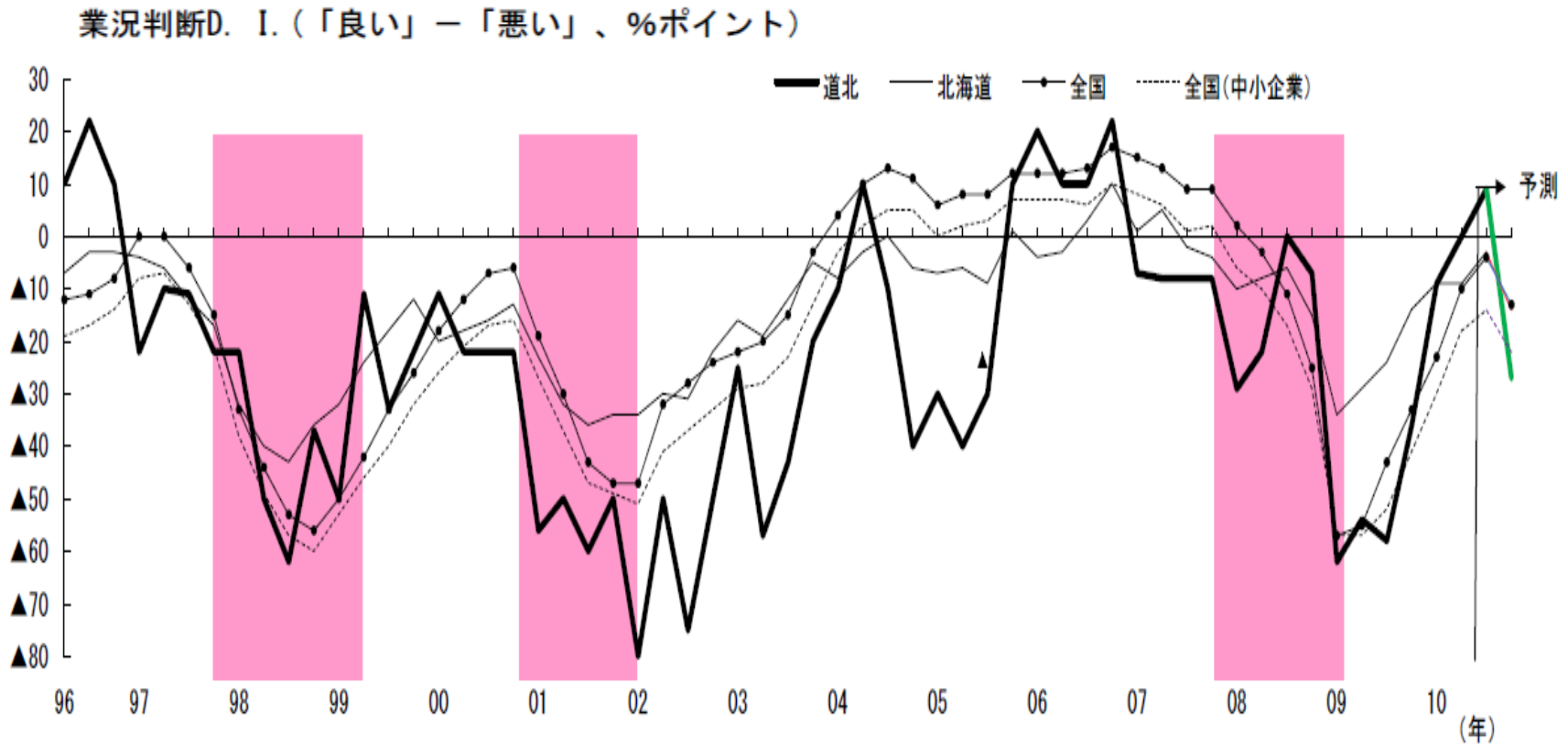


(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。

シャドーは景気後退期 (内閣府調べ)

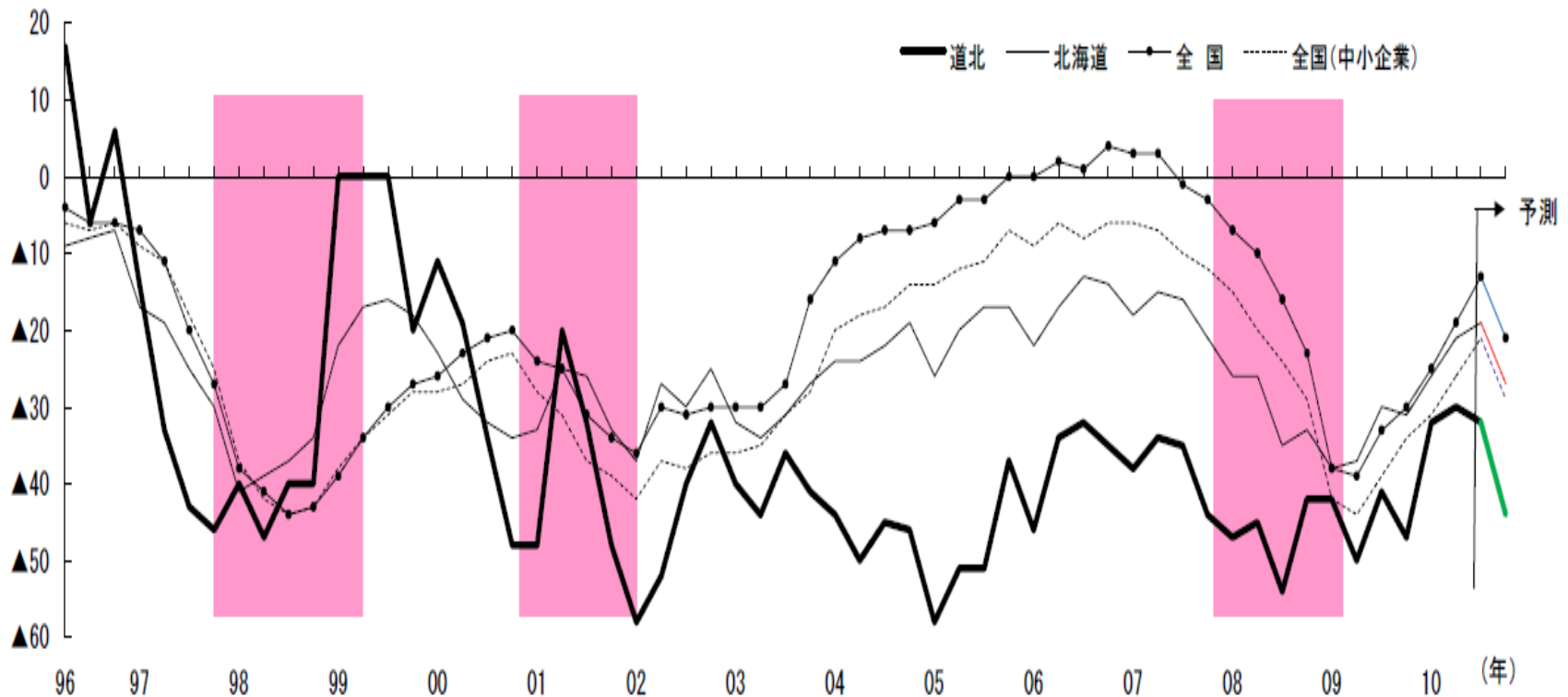
業況判断D.I.(製造業)



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
 2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。
 シャドーは景気後退期（内閣府調べ）

業況判断D.I.(非製造業)

業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

2009/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、2009/12月以降は見直し後の新ベース。

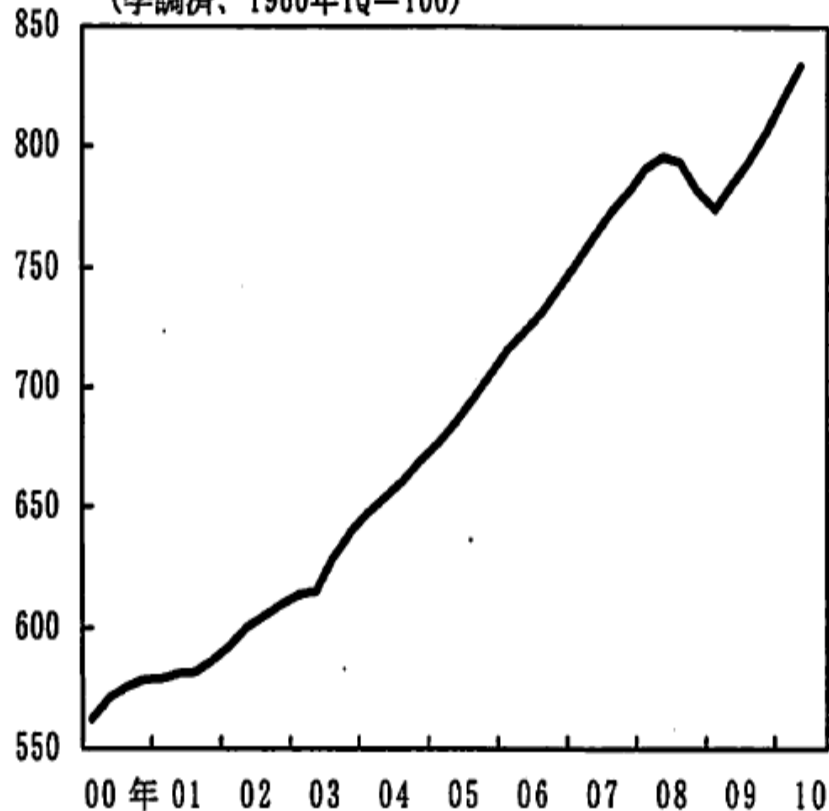
■ シャドーは景気後退期（内閣府調べ）

3章 日本と道北経済の課題

(1) 海外需要を取り込み切れない日本 主要指標の動向(1/3)

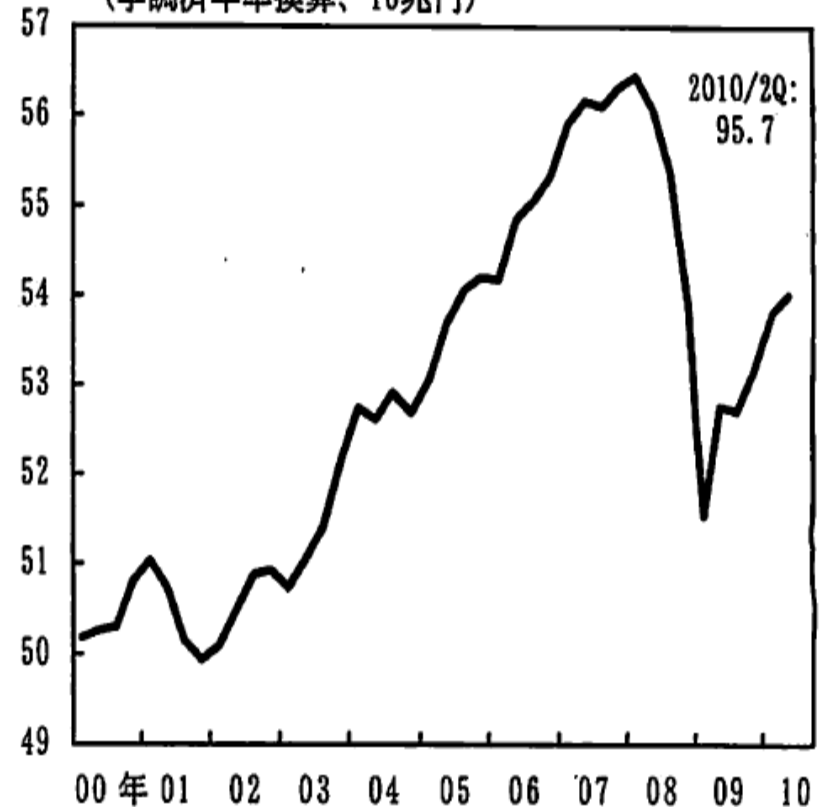
(1) 海外経済の実質GDP

(季調済、1960年1Q=100)



(2) 実質GDP (SNA)

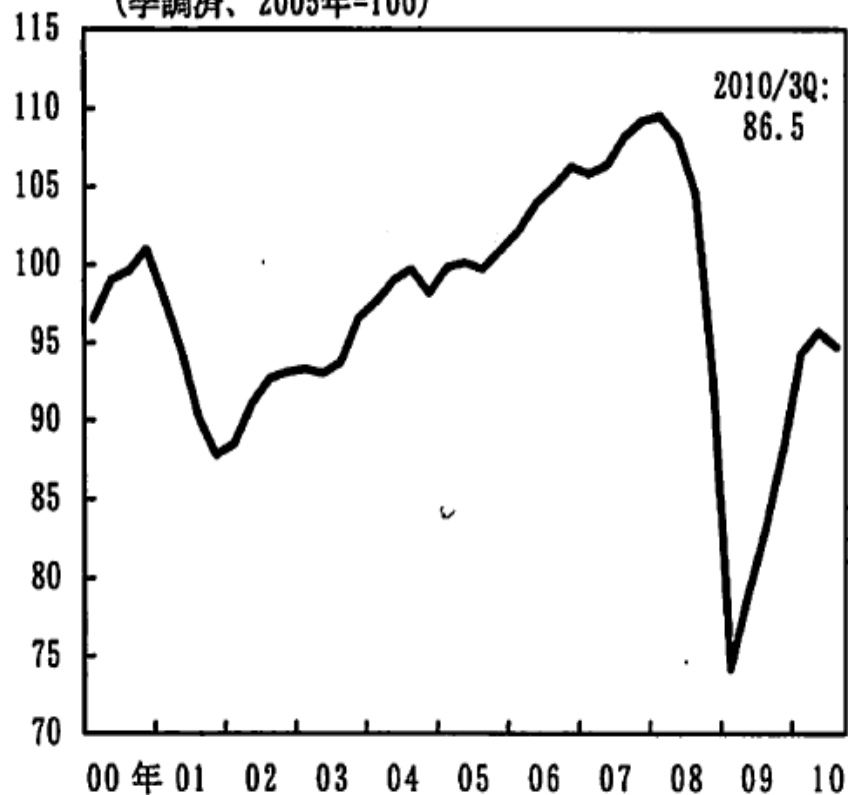
(季調済年率換算、10兆円)



主要指標の動向(2/3)

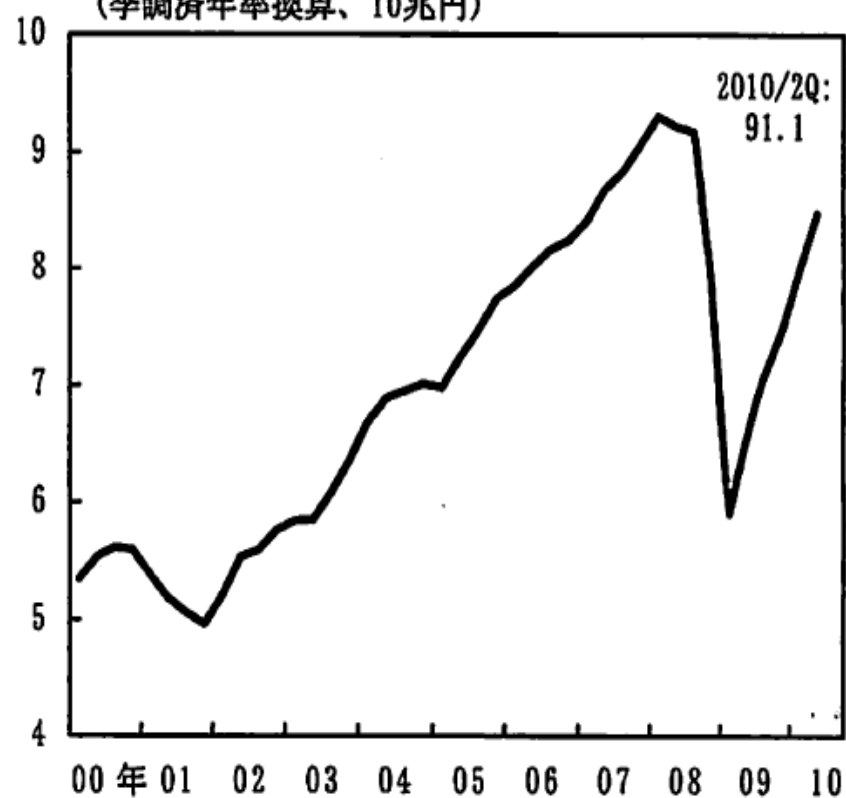
(3) 鉱工業生産 (IIP)

(季調済、2005年=100)



(4) 輸出 (SNA)

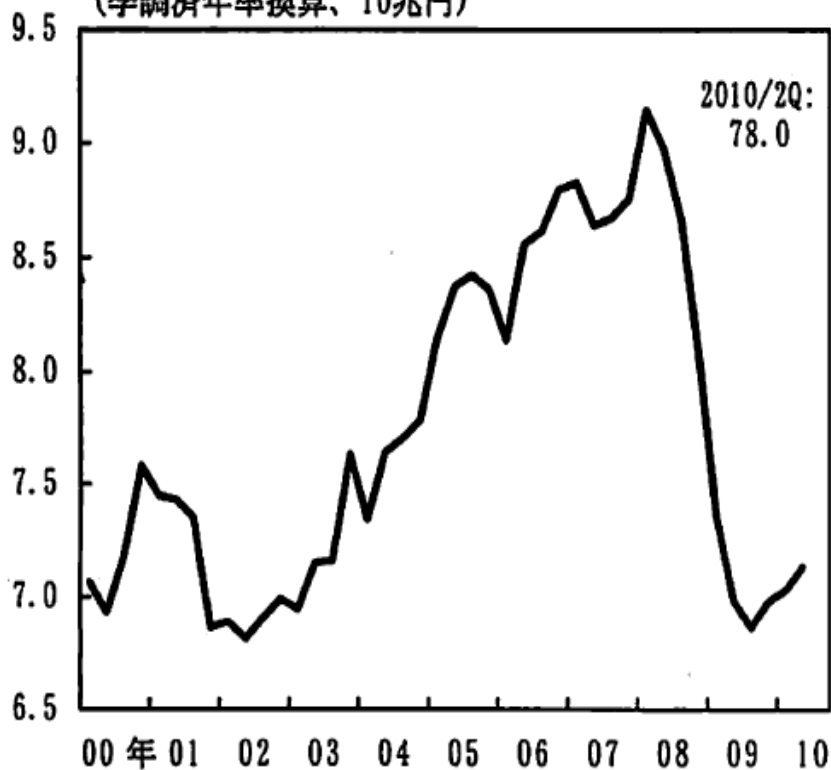
(季調済年率換算、10兆円)



主要指標の動向(3/3)

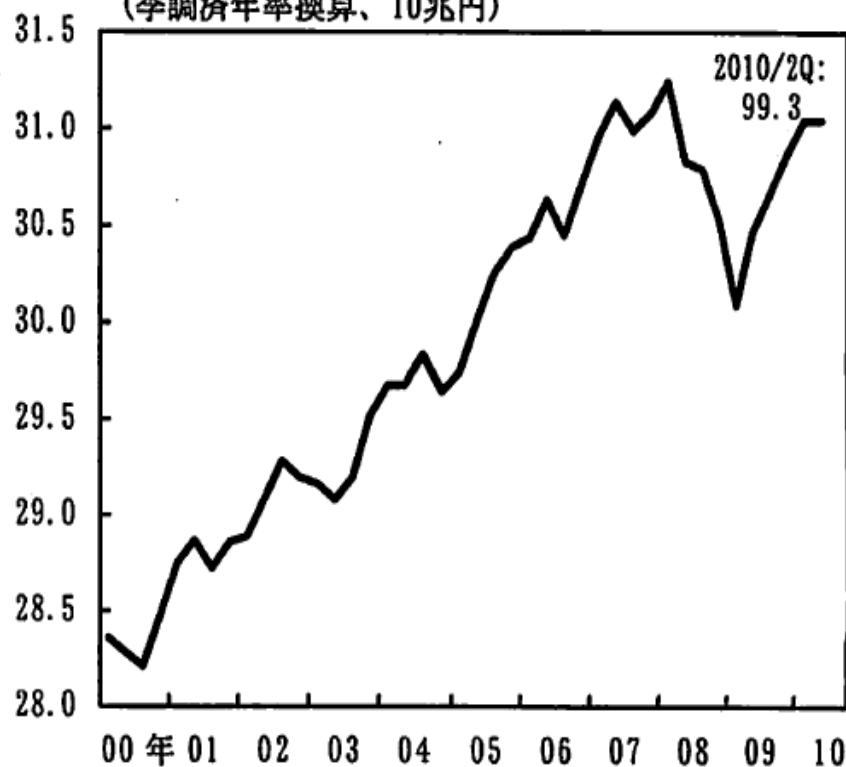
(5) 設備投資 (SNA)

(季調済年率換算、10兆円)



(6) 個人消費 (SNA)

(季調済年率換算、10兆円)



(2) 日本経済の課題

● 期待成長率の低下

【背景】

- ①世界経済の構造変化(新興国中心に拡大)への対応の遅れ。
- ②少子・高齢化、人口減少社会の到来。
労働力人口(15～64歳人口)は、今後年率1%程度で減少
- ③新興国の急速なキャッチ・アップ。
- ④大企業の海外展開を後押しする制度要因(法人税率、雇用規制、為替、環境規制) 等

(3) 経済成長を続けるためには・・・

[供給面]

労働生産性を高める:教育、意欲を引き出すシステム作り

高齢者、女性の労働市場参入を促す:意欲を引き出すシステム作り

[需要面]

国内人口 : 高齢化社会が進展

⇒構造変化を捉えたビジネスの展開

海外需要 : 長い目でみれば成長分野

⇒アジアは「国内」と思え

(4) 北海道の将来性

- 地球温暖化は北海道にとってフォロー。
- 北海道の観光・食の資源、日本流のおもてなしの心は世界でも有数。潜在的な可能性は莫大。
- 食: 安全・安心、アジア・世界の食糧基地
- 観光: 世界自然遺産(知床)、国立公園、スキー、動物園、博物館。渋滞なし。個人・滞在・体験(学習)型へ。
- 環境: 太陽光、風水、雪氷エネルギーの活用。バイオ。
- 前提: お上、他人に頼らぬ精神。人材育成。

(5) 旭川の挑戦

地域振興の3大要素とは？

— よそ者、若者、バカ者

- ⇒ 旭川は、よそ者も利用しながら、地域活性化のために一致団結せよ。
- ⇒ 若者が住みたいと思える仕掛けを。そして、若手人材を育てよ。
- ⇒ 農業(食品加工を含む)、観光、高度な医療サービスを、一段と活かした地域戦略を実行せよ。
- ⇒ ざん新たなアイデアを提唱する者を励まし、伸ばせ。

ご清聴

誠にありがとうございました